資料４

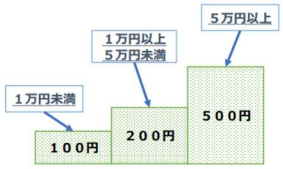
検討中自治体（北海道・宮城県）の状況

１　北海道

(1) 検討の状況

令和５年　７月１４日　観光振興を目的とした新税に関する懇談会設置
令和５年　８月　１日　第１回開催　全道一律１００円の案
令和５年　９月１４日　第２回開催　使途の方向性、段階的定額制

料金区分	税率の案
１万円未満	１００円
１万円以上５万円未満	２００円
５万円以上	５００円



令和６年　１月２５日　第３回開催　税率区分の見直し、免税点、課税免除など
令和６年　２月１９日　第４回開催　懇談会議論のまとめ

税率の見直し案
２万円未満：100円 **２万円以上**５万円未満：200円 ５万円以上：500円

税収規模　６０億円　→　４５億円

(2) 新聞やホームページからの情報

令和５年　９月１４日　道の第２回会議で提案された段階的定額制に対し７市（札幌、函館、小樽、旭川、釧路、帯広）が異議（朝日新聞）
令和５年１１月　２日　札幌市は道の税率を考慮し段階的定額制へ変更する方針（日本経済新聞）
令和６年　１月２５日　道は市町村を対象にアンケートや意見交換会の意見をふまえ、税率区分を見直す方針を固めた（朝日新聞）
令和６年　２月　９日　札幌ホテル旅館協同組合が北海道と札幌市の宿泊税案に反対を表明する要望書を提出（朝日新聞）
令和６年　２月２０日　北海道「宿泊税」２万円未満は１００円で調整（読売新聞）
令和６年　３月　７日　北海道「宿泊税」１００円～５００円の段階的定額制固まる（観光経済新聞）
令和６年　６月１２日　宿泊税収の３％をホテルなどに交付（ＮＨＫ）
令和６年　７月　３日　鈴木知事「早ければ２６年４月から導入方針」を正式表明（ＮＨＫ）

２　宮城県

(1) 検討の状況

平成３０年１０月３１日～令和２年１月１０日

宮城県観光振興財源検討会議（第１回～第９回）

令和２年　２月１２日　宮城県議会２月定例会に宿泊税条例案を提出

税率	免税点	税収見込み
一律３００円	３，０００円未満	２３億円

令和２年　３月　２日　新型コロナの影響により宿泊税の条例案取り下げ

令和６年　１月１５日　宿泊税の導入検討を再開

令和６年　８月１９日　９月議会で条例案提出する方向で調整

税率	免税点	税収見込み
一律３００円	**６，０００円未満**	**１１億円**

※導入を検討している仙台市では**県１００円、市２００円**となる。

令和６年１０月１７日　宮城県議会で条例案可決。

(2) 新聞やホームページからの情報

令和２年　２月２９日　宮城県議会２月定例会に宿泊税条例案提出。(FNN オンライン)

令和２年　３月　２日　新型コロナの影響で宿泊税の条例案取り下げ(日本経済新聞)

令和６年　１月１５日　宿泊税の導入検討を再開（日本経済新聞）

令和６年　５月２８日　仙台市の宿泊税６月議会提出見送り　県との調整続く（日本経済新聞）

令和６年　７月　８日　宮城県の宿泊団体、宿泊税の導入反対する要望書提出（日本経済新聞）

令和６年　７月１７日　宿泊税の不安解消へ制度見直しを検討（ＮＨＫ）

令和６年　８月１９日　宿泊税の免税点３，０００円から６，０００円へ見直しする方針　９月県議会で条例案提出へ（ＮＨＫ）

令和６年　９月１０日　宿泊税条例案の提出見送り要請　県議会２会派（ＮＨＫ）

令和６年　９月１７日　大崎市議会から宿泊税導入に反対する意見書を宮城県へ提出（東北放送）

令和６年１０月１７日　宮城県議会で条例案が可決される。２０２５年１１月から課税（東日本放送）